

中央大学 2025 年度一般選抜

【出題の意図】

試験日	2025 年 2 月 9 日
学部・試験方式	5 学部共通選抜
科目	国語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

設問一

【出題の意図】

第一問は、現代文の論理的文章についての問題です。今回は北澤憲昭の文章を題材としました。近代における「美術」概念成立の過程において、権力がどのように人々に働きかけるのかを論じたものです。明治期の「美術」という題材にはやや難しさがありますが、権力が外的な規則として人々を拘束するだけでなく、自ら規範を内面化することで従属的な主体となるという、基本的な図式をおさえて読解させることを狙いとしています。漢字や語彙などの基本的な知識を問う問題も設けました。

設問二

【出題の意図】

第二問は、現代文の論理的文章についての問題です。今回は伊藤亜紗の文章を題材としました。ケアやコミュニケーションの観点から話題となった著作から、近代的な視覚偏重の価値観と、それを相対化するものとしての触覚について論じた箇所から出題しました。全体的に平易な文章ですが、「距離」「持続性」「対称性」という三つのポイントについて、その意味を文脈に沿って適切に理解できるかを問う問題としました。

設問三

【出題の意図】

第三問は、古文についての問題です。鎌倉時代の仏教説話集『沙石集』の観音霊驗譚を題材としました。古文の基礎的な語彙・文法が理解できているか、また、説話の内容―清水寺の観音の「衣を盗め」というお告げを受けた時の貧しい女の心情、女と武士のやりとり、その女が十年後、京都に住む衣の持ち主の家を訪ねたことによって前世からの因縁に気づいたことなどを理解できているかを問いました。